



企画展 移民と和歌山 2018

和歌山の先人たちを通して振り返る移民の軌跡



1868（明治元）年、153人の契約移民を乗せたシティ・オブ・トーキョーがホノルル港に到着しました。後に「元年者」と呼ばれるこの人々は、3年契約でサトウキビ農園で働くために移民しました。和歌山県からは、1885（明治18）年、官約移民としてハワイへ渡航を開始しています。和歌山県民の渡航先はハワイにとどまらず多岐に渡りました。米国本土、カナダ、オーストラリア、中南米、南洋地方などへ多くの県民が移民しています。

2018年は、ハワイへの契約移民が開始されて150周年という節目にあたります。北米を中心として、和歌山県出身の移民や移民送出に関わった人々に関するパネルおよび資料などを通して、海外に移民した先人たちの軌跡をふりかえります。

※契約移民数153名には諸説あり

【会 期】平成30年9月21日（金）～10月27日（土）

【開室時間】10：30～16：00

【閉 室 日】土日祝日および図書館閉館日に準ずる

ただし、9月22日（土）12：00～17：00（※入場は16：30まで）

および 10月27日（土）11：30～16：30 は開室

【会 場】紀州経済史文化史研究所展示室（西5号館3階）

関連イベント 対談：移民をめぐる諸相 **入場無料**

〔日時〕10月5日（金）15：00～16：00

〔会場〕図書館1階グループ学習室（西5号館1階）

定員20名のため、事前申込をお願いします。

TEL 073-457-7891 FAX 073-457-7890

主催：和歌山大学地域活性化総合センター紀州経済史文化史研究所

共催：那賀移民史懇話会 太地町歴史資料室

後援：（公財）和歌山県国際交流協会 和歌山県中南米交流協会

わかやま南北アメリカ協会 NPO法人日ノ岬・アメリカ村

※平成30年度科学研究費助成事業（課題番号：18K11777）